

波 紋

1991 8 第74号

第二回 森松 ビアパーティー



先日、森松屋上・5階でビアパーティーがありました。ゲーム、かき氷、カラオケなど、それにみなと祭の打ち上げ花火が天望できてとてもきれいでした。

『交 差 点』

新しい英会話の先生

アリ君という名前のイランの人が、7月より、モーリンで働いている。昼は本社の2Fで仕事をし、夜は生徒20名の英会話の先生をアルバイトでやっている。もちろん生徒は全員、モーリンマン。

西田係長と同じ歳の25歳、明るく、元気で、素直な青年です。イランに母親と姉さんを残し日本へやってきました。

昔は日本人が国を離れて外国へ出稼ぎに行ったものですが、今日は世界中から日本へやって来ます。日本語はカタコトしか話せませんので、和英辞典を片手に、身振り手振りでコミュニケーションをしています。秋にアメリカ研修に行く人達は、ガンバッテ彼と話をしています。

なかでも、入管手続・法律等の問題が色々ありますので、稲葉部長は特に大変です。

しかし、アリ君は良い意味で、森松社内には刺激を与えてくれています。休日が増え、以前より時間が出来たので、丁度都合が良いタイミングです。

英語で「ガンバル」は

- ネバー、ギブアップ
- テイク、イット、イージー
- リラックス



色々言い方がある
ものですね。

森 信 之

トシ君の一方通行

「アリバイ」

アリという外国の人が入社しました。彼は、四ヶ国語しか話せません。残念な事に、日本語は私の英会話と同じ位、全く話せません。しかし、大変真面目な好青年でして、よく働いてくれます。生産部門で働いていますので、女子社員、パートさんに囲まれています。どうも日本人というのは外国の人が苦手な人が多く、決つて悪気がある訳ではありませんが、話しかけられるとドキドキするみたいです。特に英語の苦手意識があるからで、これじゃあかんと思ひ、とにかく日本語でも英語でも良いから、出来るだけ話しかけてあげてと言いました。明かるい青年ですから、困りの人も打解けてきまして、特に一緒にチームを組んでいる人達は話さなければ仕事になりません。照れていては進まないからです。不思議ですね、三日もすると彼の言っている事が全部ではないにしろ、理解出来ますし、アリの理解出来ます。入社してすぐ、アリの顔を嫌な顔をする位、日本語を教えました。困りの女性は嫌な顔をせずに英語を楽しもうとしています。アリは日本語で「お早ようございます」と挨拶します。パートのAさんが話しかけるのを照れていました。でもAさんはさようならを彼に言いました。「アリ、バイ」もちろん通じます。アリは皆に一生懸命打ち掛けようとしていますから、うれしかうたと思ひます。先日彼からお母さんへの話を聞きました。お母さんを早く日本へよび、一緒に生活したいという事を、親孝行は万国共通ですね。それにしてもオイラの英会話は全然進まんなあ。

木村英利

森松クインテット

環境問題について考える

「結婚10年目に10粒の……」
私の嫌いなコマーシャルである。理由はもうじきそうだからである。妻は何も言わないが私がこのコマーシャルを見て顔をしかめるのを見て笑っている。

この10年間で私をとりまく環境はずいぶん変わった。私の生活してきた環境と妻の生活してきた環境とがごちゃ混ぜになり、二人で築いた新しい環境も加わり、さらに二人の子供が、小さいながらも開拓した環境もあつて、それはまあ、ぐちゃぐちゃという感じですが、そのぐちゃぐちゃの環境が今、私の生活の場となつている。それがどうのこうのと言う前にこの10年間に感謝したい。

さて環境問題について考えるにあたりまず何が重要かを考えたいと思います。

とにかく一番重要なのは自分自身でありまして、自分が、気持ち良くないとまずいのです。家族がそれぞれ自分が気持ち良い事を考えて、それには家族をとりまく環境が気持ち良くないといけないわけで、そうなるお互いに影響と束縛が出てきて、それはもうぐちゃぐちゃです。それでも、やっぱり家族がまず人間として生きてほしいと思う。父親とか母親とか主婦だとか、なんだとか、いろいろあるけどまず人間。一個の人生、そこに夫婦だ、親子だ、なんだ、かんたんとくつついてくる。

そして、相手を無意味に束縛すれば自分も無意味に束縛され、相手に悪い影響を与えれば自分も悪い影響を与えられるという事に気がついて、結局、丁度いい加減のところ、一番気持ちいいかなと意識することになる。その丁度いい加減の環境を作ってくれた一番の功労者である妻に感謝します。

この文章が、我が家の10粒の○○○○○○○○○○だと思つて下さい。(甘いかな……)

牧野光昌

喜怒哀楽

私は、仕事柄外へ出る機会が多く、車を運転しながら色々な光景を目にします。そんな訳で同じドライバーとして気になる事がしばしばあります。

運転技術はさておきまして、車窓からの小さなゴミや、タバコ等の投げ捨てです。こんな車を見ると、(おいおい、あなたの車には灰皿やゴミ箱はないのか?)と思ひます。

また、中央分離帯にも沢山のゴミを見かけますが、あれも誰か一人が捨てる事によつてついつい他の人も捨てるのでしよう。もう少し、後の事を考えればなあ、と思ひます。時には走行中に、平気で空き缶を投げるヤツもいますが、これは非常に危険。

「後ろにも車が走っているんだぞ!!」と、言いたくなります。

赤信号の停車中に、いっばいになった灰皿を道路に捨てているヤツ。これはもう問題外。あきれ言葉も出ない。

この様な人は、人格はもちろん、それが社名の入った営業車なら会社のイメージも疑われるでしょう。

本人にとつては、何げない事かもしれませんが、他からすれば大きく違つて見える事と思ひます。

まあこれらは、ほんの一例にすぎませんが自分のゴミぐらひは、ついついと言う気持ちにならず、持ち帰つた方が良いでしょう。どこで、誰が見ているのかわかりませんか……。

安井浩二

子供の頃、やんちゃでわんぱく坊主……と一見思いたくなるこの人。実は、いたずらをあまりしなかったと言う事？
ボーカー・フェースで、女性にはやさしく今、アメリカ行きに向けて一生懸命、英語の勉強に励んでいるという。
その人の名は……

岩間係長

Q 学生の頃、何の部活動に所属していましたか。

A バレーボール

Q 子供の頃にした思い出深いいたずらは、ありますか。

A いたずらをしたわけではないですが、押入れの中でローソクに火をつけて遊んでいてふとんとふすまを燃やした。
(ボヤですみました)

Q 一つ願いがかなうとしたら、何を願いますか。

A 長男の腎臓病を治してほしい。
※さすがお父さん！

Q もしも、一億円の当くじが当たったらどうしますか。

A 一戸建を買って、残りは預金。

Q 今、一番の宝物は何ですか。

A 家族！

Q 小さい頃、なりたかった職業は何ですか。

A 船長、パイロット。

Q もし、ぼつちよんトイレに三万円落したらどうしますか。

A もちろん拾います。

Q 今、一番行ってみたい国は？

A オーストラリア。

Q もし、あなたが透明人間だったらまず、何をしますか。

A とうぜん、あれですよ！

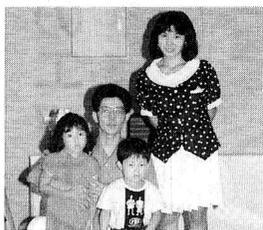
※さてなんでしょう。

Q 今、一番感心をもっている事は何ですか。

A 英会話。

Q 最後に家族の方に一言。

A 感謝！



左より、美乃里ちゃん、岩間係長 祐哉君、奥様。

敬子奥様へインタビュ

Q プロポーズの言葉を教えてください。

A 「俺がもらってやる」という、えらっそいな言葉でした。

Q 休日には普段どんなご主人ですか。

A ねているか、ビデオを見るか、パチンコに行ってしまうかです。

Q ご主人に一言。

A 無理しないで体につけてネ♡

美乃里ちゃんへ

Q 休みの日お父さんは何をして遊んでくれますか。

A 遊んでくれません。

Q 美乃里ちゃんからお父さんへ一言。

A いっしょに遊んでよ。

祐哉君へ

Q 祐哉君からお父さんへ一言。

A 何か買って！！

御協力有難うございました。

今月の社内行事

8月3日	第一土曜日休み
5日	幹部会 午前七時半より 3F
8日	加藤先生来社
〃	Y・M・S 十八時半より 4F
10日	夏季休暇
18日	夏季休暇
19日	幹部会 午前七時半より 3F
22日	生産会議 十八時より 4F
23日	営業会議 十八時半より 4F
24日	午前 社内ソフトボール大会 午後 テニス 丹後公園にて
26日	経営会議 十八時半より 4F
27日	F・M・S 十八時より 4F
31日	中高七若手工場見学会

暮らしのエッセイ

「森松野球部」

日時 7月10日
場所 野並球場
対戦相手 三京アムコ様
結果 4対4

「森松」対「三京アムコ」戦がナイターでおこなわれました。草野球にしては、すごい投手戦でした。守備の方でも、ダブルプレーをきめてピッチャーを助けました。結局試合は、4対4の時間切れ引き分けでした。あと5分時間があれば、森松の逆転負けになっていたのでは……。皆様、たいへんお疲れ様でした。



松井宜和

クイズコーナー

（7月号の答え） 買い物の品は **す** です。

正解者の方には、商品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。



編集後記

梅雨も明け、本格的な夏の季節になりました。皆様、夏バテには気を付けてお過ごし下さい。

さて話は変わりましたが皆様の中で英語がきらいな方はいるでしょうか。森松では今、英会話の勉強があるのですが、初めは一定の人達だけでしたが今では約130の人とだんだん増えてます。私もその中の一人です。英語は苦手ですが、自分から「やろう」と思いやり始めたので、今は、やる気を出して頑張ります。

近藤珠美

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
伊東郁二
平成3年8月1日
第74号